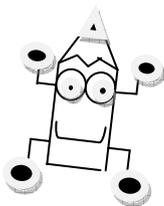


今回は、調理です
皆さんテキストを確認し
てくださいね



介護保険課認定係
平成23年7月1日発行

認定調査とつきクン通信（第2号）

5-6 （特記内容）

手の関節に痛みがあり物を切ることが出来ないためヘルパーに頼んでいる。

チェック 一部介助

あなたならどのように、書きますか？ 考え中・・・

ココより下を折って、考えてネ。 自分の特記ができた後で見てください。

確認事項（専門調査員からの確認内容）

おかず等の調理は含みません。定義にある「炊飯」「弁当・惣菜・レトルト食品・冷凍食品の加熱」「即席めんの調理」の介助状況から判断下さい。

回答（調査員から）

出来あいの物を購入することが多く、それをレンジで温める。週2～3回は自分でも調理する。週1回は、ヘルパーに炊飯をしてもらい少量ラップに包んでもらう。根菜も小さめに切る介助あり。

チェック変更なし

注意点

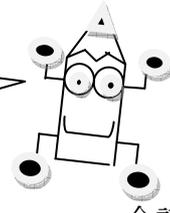
- 概ね過去1週間の状況で「炊飯」「温め」「即席めんの調理」のうち発生している行為を特定し、その行為に介助が行われているかどうかを頻度から判断する。（H21/12/25 発行「調査項目について」内の項目の解釈で通知済み）

特記記載例

・手の関節の痛みあり、出来あいを購入することが多く三食自分で温めている。週2～3回位は自分でも調理するが、週1回はヘルパーの訪問時にまとめて炊飯し分けてラップに包んでもらう。根菜も小さめに切る介助あり。炊飯は週1回介助・温めは三食自分で行っているため頻度から判断する。

頻度から「介助されていない」を選択

入院中や施設入所中は、病院や施設で食事提供されているため「全介助」となります。
経管栄養で調理の必要のない流動食のみを投与されている場合は「介助されていない」となります。



介護保険課認定係
平成24年1月4日発行

認定調査とつきクン通信（第8号）

5-6 (特記内容)「問い合わせが多い為、第2号に続き第二弾です」
配食サービスを利用している。 *「全介助」*

あなたならどのように、書きますか？ 考え中・・・

ココより下を折って、考えてネ。 自分の特記ができた後で見てください。

確認事項 (専門調査員からの確認内容)

「炊飯」・「弁当、惣菜・トト・冷凍食品の加熱」・「即めんの調理」に介助が行われているかどうかです。介助がなければ「介助されていない」となりますが、いかがでしょうか。

回答 (調査員から)

全て配食サービスを利用。 *変更なし「全介助」

*

*この回答だけでは、「全介助」と判断できないため再度電話で確認しました。

注意点

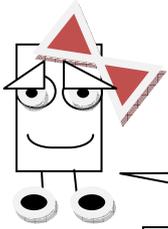
○ ここでいう「簡単な調理」とは「炊飯」「温め」「即席めんの調理」に対して **介助が行われているか**です。(能力で判断ではありません) 概ね1週間の状況における頻度の考え方は、「炊飯」「温め」「即席めんの調理」のうち、発生している行為を特定し、その行為に介助が行われているかどうかで判断する。**おかずの調理(介助)は含まれません**。(具体的な聞き取りをしないと選択できない場合もあるかと思えます。)

特記記載例

- 昼・夜食は配食サービスを利用し、温めもせずにそのまま食べる。朝食もパンと牛乳の為「簡単な調理」は、発生していない「介助されていない」を選択する。 *「介助されていない」となる*
- 昼・夜食は配食サービスを利用し、温めもせずにそのまま食べる。朝食のための炊飯は、近くの娘が週3~4回程度訪問し用意する。炊飯・おかず等の温め・即席めんを作ることも本人は行わない。「炊飯」の行為に介助が行われていることから「全介助」を選択する。 *「全介助」となる*

認定調査とつきクン通信（H24第2号）

（H24年度は特記、記載時のポイント・キーワードに重点を置き発行いたします）



専門調査員から問い合わせが来たけど・・・どこがダメなの！なんで！なんでだめなの？

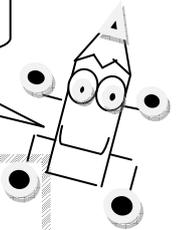
5-6

ケシコちゃんの特記

●調理は全て夫が行っている。

選択肢*全介助

専門調査員もこの項目は確認が多くて泣いているよ。もう一度下のポイントを確認してね。

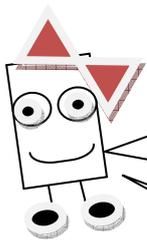


ポイント

* 概ね過去1週間の状況で「炊飯」「温め」「即席めんの調理」のうち発生している行為を特定しその行為に介助が行われているどうか頻度から判断する

* **キーワード(炊飯は誰が・温めは誰が・即席めんは誰が)**を書いたうえで頻度から多い方で判断する

(※ おかずは入らない)



なるほど！

じゃあ、質問する時は、そのように聞かないとだめなんだね。

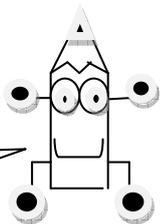
これでどうかな？

再びケシコちゃんの特記

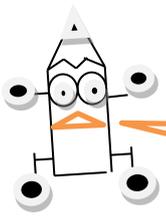
●炊飯は夫が毎日行っているが、温めは自分でも週に3回は行っている。頻度から全介助と判断した。

選択肢*全介助

そのとおり！
きちんと細かく聞いてね



OK。毎日調査で大変だけど皆さんも頑張ってね



うーん。簡単な調理ねえ……。



介護保険課認定係

平成26年7月1日

認定調査とつきクン通信（H26第4号）

（H26年度は皆さんが実際に書いた特記から通信内容を作成します）

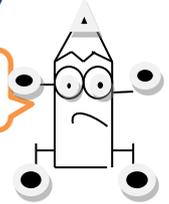
5-6 簡単な調理

調査員の特記

・自分でお湯を沸かすのみ。



特記が少なくて、判断が難しい……



選択肢 介助されていない

専門調査員からの問い合わせ内容

・特記はテキストの定義にそっての判断ですか。

問い合わせの回答



・食事はパン・出前のみで炊飯、温めはしていません。お湯沸かしのみしています。

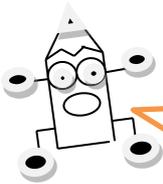
選択肢の変更あり → 選択肢 全介助

* 調査員の特記に追記 *

もともとの特記に「**食事はパンや出前のみで炊飯・温めはしていない。**」と追記する。

選択肢は（簡単な調理）が、全て発生していないことから元の「介助されていない」となる。

確認したかったことは……



今回の特記からは、「炊飯・温め・即席めん」の調理は発生しているのか。自分で何を行っているのか。介助してもらっていることは何か（頻度）。また、日頃何を食べているか。以上の点の確認が必要だった。

より良い特記

・**食事はパンや出前のみで炊飯や温めはしていない。お湯を沸かすのみ。簡単な調理が発生していない**ことから判断した。
選択肢 介助されていない



見えない相手に状況を伝えるって難しいね。だからこそ、細かい内容の特記が必要ってことだね。

「簡単な調理」については過去 H23 第2回 第8回・H24 第2回 H25 特大号でも掲載済みです。「問い合わせ」が減るといいなー。





認定調査とつきクン通信（H28第10号）

（H28年度は皆さんが書いた特記から「あいまいな表現」について考えます）

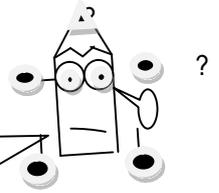
5 - 6 簡単な調理

皆さんが書いた特記

「食材を切る等は本人も行うが、基本は家族が行っている。」

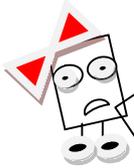
選択肢 「一部介助」

この項目は、炊飯・弁当、惣菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱・即席めんの調理のうち発生している行為を特定して、概ね過去1週間の状況で、その行為に介助が行われているかどうか頻度で判断するということだったよね。



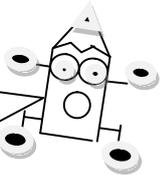
聞き方が悪かったのね。はじめに、

炊飯はだれが、
弁当、惣菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱はだれが、
即席めんの調理はだれが、
と聞かなかったかも・・・！
もう一度確認してみるね。



そうだよ。

日常生活で言う「調理」とは
違うんだよ。
だから、「おかずの調理・・・」は
入らないよ。



炊飯も電子レンジでの温めも
家族が行っていると話していたわ。
即席めんはほとんど食べないそうです。



どこが《あいまい》だったのか

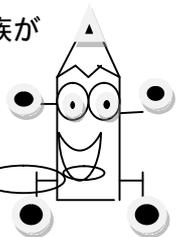
定義にそった特記が書かれていないので、・・・判断ができない。

問い合わせた結果以下の特記に修正されました

「立位不安定の為、テーブルで食材を切る等は行っているが、毎日の炊飯や温め等は全て家族が行なっている。」

選択肢 「全介助」

調査時はテキストの定義にそって
聞き取り、確認しないといけないよ。
特記も同様に定義に沿った記載をしてね





認定調査とつきクン通信 (H30第9号)

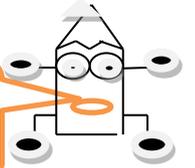
(H30年度は、「介護の手間の量」を把握できる特記について発行いたします)

ケシ子ちゃんの調査

5-6 簡単な調理「全介助」

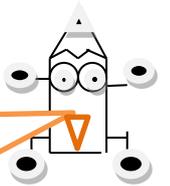
特記① 炊飯を含め普段の調理は夫が行う。

今年度は、認定審査会委員の立場で特記を考えてみる

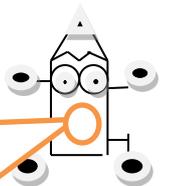


普段ご飯を炊いたり、みそ汁やおかずを作っているのは夫で、本人は夫がいない時だけ調理してると言ってたわ。

普段の調理ってどんな調理かな？もう少し具体的に記載しないと状況がわからないよね。本人は何もしないのかな。



もう一度テキストで確認して欲しいんだけど、おかずやみそ汁作りは入らないんだよ。本人が行っている調理が定義の状況なのか、頻度も含めて聞いたかな。

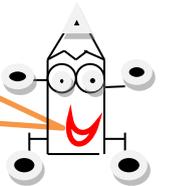


私の思い違いがあったわ。定義を確認し聞き取った事をもう一度記載してみます。

「全介助」

特記② 炊飯を含め普段の調理は夫が行う。月2～3回程度の家族不在時のみ、夫の依頼で炊飯や冷凍食品のレトルト食品の加熱行為を行う。夫が行う方が多いため、頻度から選択した。

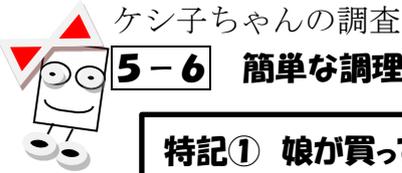
調査対象者が自分で「簡単な調理」を行う場合と家族が行う場合の両方がある場合はより頻回な状況で選択するんだよ。例えば同じ位の頻度の場合の時で迷ったら、迷った理由や具体的な状況や判断の根拠が記載されると審査会の中で討議する材料になるよね。





認定調査とつきクン通信（R1第2号）

（R1年度は、「選択肢の選択根拠」がきちんと書かれている特記について発行いたします）

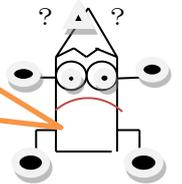


ケシ子ちゃんの調査

5-6 簡単な調理 「全介助」

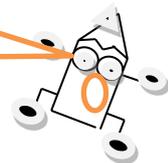
特記① 娘が買ってきた惣菜などを食べており、自分で調理はしていない。

・・・ん。定義の介助が発生していたのかな？「介助されていない」も考えられるような特記だけ。「全介助」の根拠がよく分からないな一。



自分では何もしていないって聞いたから・・・。

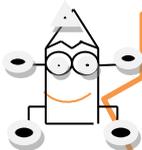
簡単な調理の定義にある、「炊飯・弁当、惣菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱・即席めんの調理」は、どうしているの。



そっか、判断する大事なことを聞いていないからもう一度確認します。

「全介助」

特記② 炊飯や惣菜等の温めを含め、朝食と夕食は娘が用意する。昼食は娘仕事で、不在のため惣菜等の温めも自分では行わずそのまま食べている。炊飯と温めが発生し、娘が行っていることから判断した。



「介助の方法」で評価する項目だから（「炊飯」、「弁当、惣菜、レトルト食品、冷凍食品の加熱」、「即席めんの調理」）の介助が、「行われている一行われていない」の軸で選択を行うことが原則だよ。選択にあたっては、最初に実際に発生している行為を特定する。過去1週間の状況において、より頻回な状況や日頃の状況で選択し、選択肢した根拠を具体的に特記へ書くんだよ。だから「全介助」の根拠が特記に書かれていないと、判断できないよね。

